

報道関係者各位

2024年10月7日(月)

株式会社明電舎

キュービクル形ドライエア絶縁開閉装置 (Eco C-GIS) を「WIPO GREEN」に登録しました

株式会社明電舎（代表取締役 執行役員社長：井上 晃夫/東京都品川区、以下明電舎）は、国際連合の世界知的所有権機関（World Intellectual Property Organization）が運営する環境技術の国際的なプラットフォームである「WIPO GREEN」に、新たに「キュービクル形ドライエア絶縁開閉装置 (Eco C-GIS)」(以下本製品)及び関連特許2件(特許第4693193号、特許第5408551号)を登録しました。[\(Wipogreen Database\)](#)

明電舎は環境技術の活用と普及を促進する「WIPO GREEN」の趣旨に賛同し、2022年3月より、その活動を支援するパートナー企業として「WIPO GREEN」に参画しており、技術登録は、本製品が4例目となります。



24kV Eco C-GIS



72kV Eco C-GIS

「キュービクル形ドライエア絶縁開閉装置 (Eco C-GIS)」

■ 本製品の特長

1. CO₂の約23,500倍の温室効果を持つSF₆ガスの代わりに、ドライエア（乾燥空気）を絶縁媒体に採用することで地球温暖化防止に貢献します。
2. 主回路部がドライエア中に密閉されているため、外部環境の影響を受けず、長期にわたり性能の維持が可能であるとともに、感電のリスクを低減します。
3. 高い耐圧性能を有しており、ドライエア圧力が大気圧まで低下しても、系統電圧での絶縁性能を確保します。
4. 保守点検を効率的に行うために、前面に監視面と操作機構を配置しました。また、オプションの診断装置により、常時監視が可能で、点検時間の短縮を実現します。

- コンパクト機器の採用と最適配置技術による省スペース設計で、限られた用地の有効活用を実現します。また、ユニット化された構造により、様々な系統構成に柔軟に対応できます。
- 環境配慮 5 項目（3R・LS）（※注）を考慮した設計により、お客様のエコ調達をサポートします。

明電舎は、WIPO GREEN のパートナー企業として、今後も環境技術の開発と利用促進に努め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

（※注）環境配慮 5 項目

Reduce（省資源、省エネ、有害物質削減）、Reuse（素材、部品の再利用検討）、Recycle（再利用ができる材料の利用）、Long Use（長寿命部品の採用）、Separable（容易な分解処理・分別回収）

以 上

■ WIPO GREEN への登録技術一覧（2024 年 10 月現在）

- ・エコタンク形真空遮断器（登録：2022 年 2 月、特許：5 件）

[【WIPO GREEN データベース】 Wipogreen Database](#)

[【製品紹介ページ】 エコタンク形真空遮断器（乾燥空気絶縁） | 真空遮断器（VCB） | 明電舎 \(meidensha.co.jp\)](#)

- ・水処理装置用セラミック平膜（登録：2022 年 12 月、特許：4 件）

[【WIPO GREEN データベース】 Wipogreen Database](#)

[【製品紹介ページ】 セラミック平膜システム | 水処理製品 | 明電舎 \(meidensha.co.jp\)](#)

- ・バッテリー試験用充放電装置（登録：2024 年 2 月、特許：5 件）

[【WIPO GREEN データベース】 Wipogreen Database](#)

- ・キュービクル形ドライエア絶縁開閉装置（Eco C-GIS）（登録：2024 年 9 月、特許：2 件）

[【WIPO GREEN データベース】 Wipogreen Database](#)

[【製品紹介ページ】 一般需要家様向け C-GIS | 特高開閉装置（GIS） | 明電舎 \(meidensha.co.jp\)](#)

■ WIPO GREEN に関する明電舎の取組み

[環境コミュニケーションの推進 | 環境 | サステナビリティ | 明電舎 \(disclosure.site\)](#)

■ 参考リリース

2022 年 3 月 28 日

明電舎は環境技術のプラットフォーム

「WIPO GREEN」にパートナー企業として参画しました

https://www.meidensha.co.jp/news/news_03/news_03_01/1242933_10499.html